



千の声

向井ちひろ市議会通信 NO.44

2026年も、皆さまから寄せられた声に取り組んでいきます

*障がいのある子どものお母さんが、わが子を地域の学校に通わせたいと希望されていますが、可能でしょうか？（福祉関係者）

→本人の状態や保護者の希望により、地域の学校または特別支援学校（篠山養護学校）を選ぶことができます。地域の学校を希望する場合、教員の配置等が必要であるために、まずは県教育委員会の判断に委ねられます。いずれにしても、ご本人に必要な支援を行っていきます。（教育委員会）

※丹波篠山市では、障がいのある子どもたちへのインクルーシブな（すべての子どもを包摂する）教育の充実を進めています。本人の思いを尊重し、保護者が望む学校・園づくりに私も取り組んでいきます。

*土曜日保育が合同となると聞きましたが、普段と違う環境への通園となるので、子どもたちや保護者への影響が心配です。（市民）

→土曜日の合同保育は、令和8年3月まで緊急的に対応する予定です。（教育委員会）

※子どもたちや保護者が安心できる保育環境を整えていけるよう取り組んでいきます。

*自治会で管理している里山（山城）の登山道などを整備したいと考えています。整備するための資材等の支援はありますか？（自治会長）

→「里山彩園事業補助金」では、手入れの行き届いていない森林の整備を行う団体に対し、労務費、事務費、整備費などの経費（100万円以内、3年に分割交付可能）を支援することができます。（森づくり課）

※自治会や市民団体による里山の再生事業が進んでいます。行政、自治会、市民団体等の協働により里山を守っていけるよう推進していきます。

*消防団の担い手が減っています。現在の団員への負担も大きくなるので、今後の消防団のあり方を考えほしいです。（消防団員）

※消防団は火災や自然災害時に地域住民の安全を守るために活動して下さっています。丹波篠山市には現在、21分団、1154人の消防団員がいます。（定員は1253人）近年、定数の確保が難しくなっている分団もあります。地域の防災力を維持していくための消防団のあり方について考えていきます。

※どんなことでもお気軽にご相談ください。 メール info@mukaichihiro.org

視察・研修等

- ・ひきこもり支援について（岡山県総社市）
- ・丹波市・丹波篠山市議員研修会「議会におけるハラスメント」
- ・議員研究会「ネットリテラシー」

地域での催し等に出席しました

・Go EAST さとやマルシェ	・6人のお母さんたちの講演会
・第14回市民センターまつり	・丹波同友会
・ももの木 寺子屋カフェ	・すまいる食堂
・ふれあい館しめ縄作り	・年末警戒
・元気がでるコンサート	・新年賀詞交換会
・五感 Café プレオープン	・ぎおん老人クラブ新春のつどい
・日置地区防災訓練	・阪神市議会議長会
・丹波篠山市地域医療講演会	・食育大会
・連合兵庫北部丹波地区新春旗開き	・野々垣ふれあいフェスタ
・ゆたかな教育の創造をめざす丹波地区会議	

*他にも地域や市民団体の集まりに参加し、皆さまのお声を伺っています。

*ぜひ、小さな集まりにお声かけ頂き、皆さまの思いをお聞かせください。

#向井ちひろ #向井ちひろと千の声 SNSで日々の活動を発信しています。



ちひろ日記 1月25日に開催された日置地区防災訓練では、雪の降る中、自治会公民館から指定避難所への移動、防災学習、簡易防災グッズ作り体験などを行いました。阪神・淡路大震災から31年を経た今、なお一層、伝えること、そして忘れないことを心に刻みました。大切な人の命を守るために政策を今年も提案していきます。

向井ちひろ（丹波篠山市議会議員 副議長 会派「福祉と教育」）

千の声 No.44



2026年2月発行（偶数月第1土曜発行）

向井ちひろと千の声

丹波篠山市宮ノ前315番地3

☎ 079-555-2625

携帯 090-7550-7596

HP mukaichihiro.org

メール info@mukaichihiro.org

